

# はじける こころ

vol.9

人権の宝島：第五中学校発.....1  
 箕面市教研・人研・外教合同夏季一日研究会.....3  
 表現活動で人権啓発「セツパラム劇団」.....5  
 つぶやき集：先生編.....5  
 人権教育基本方針解説.....7

## げんげののぺえじ

げんげの：「げんげ(紫雪草)」とは、れんげ草のことで、「げんげの」は、れんげ草が一面に生い茂る野原のことです。れんげ草は、茎が地に臥して広がり、春になると蓮の花に似た小花を一面に咲かせます。また、れんげ草は、緑肥として大地を肥やします。蓮に似た小さなれんげ草を、子ども一人ひとりの尊厳に見立てて、それが一面に花開く様子をイメージしました。

●写真募集！ ●子どもたちの笑顔、真剣な顔、輝く顔…などの写真をお送りください。



みのおから世界へ！ 人権文化の花束を！

# 箕面市立第五中学校

人権の宝島・五中発

## 生徒から生徒へ 教職員から教職員へ 願い・思いは受け継がれ 保護者・地域の人々を巻き込んで うちの学校・地域ならではの 人権文化の花が咲く

### 箕面市の人権教育の特徴

- ①「かたちにとらわれない」  
内容や実践が学校あるいは社会教育の現場の判断に任されている。
- ②「個性ある人権教育をめざす」  
それぞれの学校の現状、地域性などの実情に基づいて人権教育を進めていく。
- ③「結果を求める」  
現場、市民、教育委員会が対話によって次の実践につながる積極的な評価をめざす。

### 7月13日 千里川クリーン作戦

真夏の屋下がり、私たち(広報部会)の予想に反して保健委員の数ははるかに越える生徒たちが集まってきました。汗だくになって作業に取り組む五中生がとてものもしく見えました。



#### ＝参加者の声＝

「クリーン作戦に参加するようになって、千里川の様子をよく見るようになりました。ゴミを捨てる人には思わず注意することもあります。」

(生徒)

「生徒たちと顔見知りになり、活動以外でも声をかけたり、かけられたり、



「見る間にゴミ袋は山積み。川はすっきり！」

「親しく接することができ、とてもうれしく思っています。」

(地域の人)

今回は、継続・積み重ねが生きる取り組みとして、ハンド・イン・ハンドの活動の1つ「そうめん流し大会」とアドプトリバーの活動の1

つ「千里川クリーン作戦」を見学しました。当日の様子や感想を中心に紹介したいと思います。

### 人権教育

## 第五中学校 夏の風物詩



この学年での活動参加者第一号ということもあり、自ら率先してやらなくちゃという意識が強く、頼まれさえすればなんでもやりました。でも、今では意識的ではなく、ほとんどこの活動が自分の生活の中で当たり前ようになってきています。卒業までわずかですが、みんなで楽しい思い出を残せたらと思います。(五中3年：澤井 祐輝)

「後かたづけもあっという間。てきぱきと動く生徒たち。」

### 自分たちの身の回りの環境を考えたり、ボランティア活動を考えたりする上で重要な取り組みの一つ

#### ★千里川クリーン作戦★

平成12年(2000年)スタート  
「蛍の飛び交うきれいな千里川にしたい」と生徒保健委員会が全校生徒に呼びかけて始まった校区内を流れる千里川の清掃活動。(夏・冬2回実施)

「いったん家に帰ってから、個人で、または友達たちの参加あり。部活の開始をずらせて部員全員の参加もあり。いろんな参加スタイルで…。(毎年2/3の生徒が参加)」

大阪府池田土木事務所の方や、保護者・地域の方も多数参加あり。



- \*この活動に参加して、子どもと在学中(五中)の話をしました。テレホンカードを集めたり、社会見学として神戸の被災地に、お米を届けに行ったりしたということでした。参加者が200名程と聞き、長年の先生方、保護者のみなさんの熱心な取り組みの成果だと思いました。(守備 朋子)
- \*手作りの企画の中で地域の人々が、何のわけかまりもなく、ごく自然に楽しめることが、その地域に住む人のコミュニケーションを活発にさせることになり、子どもを育てる力(基礎力というものかもしれません)を高めることになると思いました。(中田 恵理)

### 7月5日 そうめん流し大会

五中の「ハンド・イン・ハンド」の夏の一大イベント そうめんを流すしかげを昇降口前に組むと障害のある仲間とのふれあいの行事にたくさんの生徒が集まります。

自ら活動に参加する生徒とそれをささえる教職員・保護者(卒業生の保護者を含む)・関係者とが一体となったホットな取り組み

#### ☆「ハンド・イン・ハンド」☆

平成元年(1989年)スタート

なかま教室(養護学級)に集い、障害のある仲間ともしっかりとふれ合ったり、さまざまな差別や人権について感じ考えたりする。クラブ活動とは違い、その都度活動への参加は自由。とは言っても長年の積み重ねの結果、中心となって自主的にサークルの運営を推進する生徒たちが毎年いるとか。先輩から後輩へとバトンが手渡され、ハンド・イン・ハンドの理念がしっかりと受け継がれています。

【五中独自の主な取り組み】

- \*使用済み磁気カードの回収(現在3万枚余)
- \*「唐池まつり」に出店
- \*ユニセフ・元気村活動支援募金活動
- \*新入生歓迎の集い
- \*そうめん流し大会
- \*さつまいもの栽培・収穫祭
- \*3年合格&家内安全祈願もちつき大会

友達に誘われて、いつのまにかHinHの一員として、活動に参加するようになり、日常ではなかなかしないような事をするようになりました。例えば、万博で中学校ごとのグループが集まった交流会、夏にはキャンプに行きました。そうめん流し、芋掘りなどもしました。特に、キャンプは自炊で、みんなでワイワイ騒ぎながら面白く体験することができました。今後、収穫祭・もちつきなども予定されているので、大忙しです。結構、大変なところもありますが、みんな楽しみながら活動しています。これからの活動も楽しんでいきたいです。(五中3年：福井 隆太)

#### ★見学者の声★

\*企画が年に何度か定期的にされていて、参加する生徒たちも多く、私の知っている生徒もいたりして、地域っていいなあと思いつつ見学していました。ふれ合う事の大切さを感じるとともに、まわりの人たちが自分たちの出番を待っているようにも見えました。

(高 桂子)

\*一中でも「大空の日」を設けてカレーパーティーを年2回程しています。全校へのアピールなど参考にしたいと思いました。

(今元 杏)

～参加した推進委員の感想より～

## 2004年度 箕面市教研・人研・外教合同夏季一日研究会を振り返る

8月2日（月）箕面文化センターで開催されました。6つの分科会で様々な視点から人権に関する講演や実践の紹介などがなされました。

今回は、人権推進会議が共催で実施した「模擬授業 江戸時代の身分制」分科会をはじめとする4分科会（推進委員が参加）を中心に紹介します。



### 6つの分科会一覧

【模擬授業 江戸時代の身分制】分科会	茨木市立豊川中学校の田中義明さんによる、新たな展開の模擬授業	部活動問題学習座談会あり
【子どもと子どもをつなぐ人間関係づくり】分科会	甲子園短期大学の園田雅春さんによる、子どもの育ちについての講演	幼稚園の3園の報告あり
【学力保障：一人ひとりに確かな学力をつけるためには】分科会	京都産業大学の西川信廣さんによる、少人数指導についての講演	
【スクールセクハラを防ぐために】分科会	箕面市人権推進委員会が作成したスクールセクハラマニュアルの報告ほか	
【こんな読書をやっています】分科会	大阪市立意岐部中学校の諸角裕久さんによる「朝読」の実践紹介	各校の朝読の情報交流あり
【豊かな関係を育てる】分科会	プール学院大学の中島智子さんによる、他文化共生についての講演	国際理解教育実践報告あり

### 「イベント」おにぎりからはじまる 部活動問題学習

【模擬授業 江戸時代の身分制】分科会

お米から、地域の産業に目を向けさせ、力強く生き残った地区の人の生きざまに迫っていく授業展開は、箕面市学習スタイルづくりにむけ大きな刺激に！

◆いろいろと地図や写真・小道具などを用いながら、楽しい授業だと思えました。子どもたちを授業に集中させるには苦労があるんだとも思いました。

★中学生の歴史の授業で地域のことを学びつつ、身分制度への発展部分を見せていただければ、人権の弱者は、黙ったり、怒ったり、同情を求めたのではなく、正しく主張できる人間として成長しなくてはならないし、まわりの人間も何が正しく、何がおかしいのかを見極める心を育てなければいけないと思います。

◆その時代の歴史を学ぶという点に、対し意欲的に、次へ考えることができる。つながり、持たせた授業だったように思います。

★授業改革をしなければという課題をつきつけられて考えることではなく、毎年、毎月、毎日が授業改革して授業に臨むことが大切だと感じています。

（植田真理子）



### 人権教育の推進は、あらゆる教育活動が深まり、豊かなものになる

～夏季研をふりかえって～

箕面市人権教育研究会 事務局より

#### ●教職員による児童生徒に対するセクシャルハラスメントについての分科会

学校現場でのセクハラは断じて許すことがあってはならない重大な人権侵害である。府教委からも様々な通達やQA集が出されています。

しかし、学校におけるセクハラ事例は逆に増加の傾向にあり、この状況に深く心を痛めた箕面の教師たちが自主的に集まり研究し、セクハラが絶対、学校で起きないようという熱意と願いを込めて作成したものが「子ども支援マニュアル」です。

大学の研究者の助言も取り入れ、何度も推敲を重ねたために、完成までに時間がかかりましたが、十一月に全職員に配布することができました。現場で校内研修など有効活用されるよう願っています。

#### ●模擬授業「江戸時代の身分制」の分科会

そもそも部活動問題学習は歴史の授業だけで完結するものではありません。総合的な学習の時間での地域学習のとりくみや社会（公民的分野）の「基本的人権の尊重」の学習など、人との出会いや子ども自身の「気づき」を引き出しながら様々な機会や、3年間でトータルに学習が進められていくべきもので、その中で人権尊重の気持や態度が子どもたちに育まれていくのです。

また、相手の心情や気持ちを聴きとったうえで、自分の考えを正しく主張できる力は、子どもたちが豊かな人間関係を築くことができる力であり、広い意味での学力であると考えます。しかしその力を獲得できないような様々な不利な条件を背負っている子どもがいる。その現実を深く知り、その課題に寄り添った教師の姿勢によってこそ、あらゆる教育活動が深まり、豊かなものになっていく可能性をもっています。

### 自己学習力がキーワード

学力保障一人ひとりに確かな学力をつけるためには「分科会

一人ひとりに確かな学力をつけるために、少人数指導をどのように効果的にすすめるか、府下のさまざまな学校の実践の紹介も含めてのお話で、たくさんの指導のヒントが…

◆「一番気になった言葉は」「授業力量の向上」と「目的の前の課題を乗り越える力（生きる力）」の基礎は「自己学習力である」ということ。

★教師にとっての授業のあり方を問われており、また、家庭との連携や地域事情なども取り交わす話で、教師だけでなく、保護者や地域の方にも「学校協議会」が設置されているから、「一緒に学習できる機会」にできれば良かったですね。

（小関麻沙好）



### 「ビタミン」は自尊感情の素

「子どもと子どもをつなぐ人間関係づくり」分科会

「ビタミン」という「V」は、自尊感情の頭文字をとったもので、子どもから大人へと育っていく中で、この自尊感情をいかに高めることが重要であるかということが大きなテーマに！

◆ビタミンAやBが人間が生きていく中で、不可欠であると同じように、人として成長していく上で「ビタミン」が絶対に必要であるということがよく分かりました。全体として、学校の先生向けのお話でしたが、3人の子どもの育てる母親として、子どもの自尊感情は大切にしたいというと思いました。

（中田 恵理）

### 2Wでスクールセクハラを学ぶ

「スクールセクハラを防ぐために」分科会

大阪府教育委員会児童生徒課の富田公一先生のお話を聞き、歴史的な流れ、および現状を知る。箕面市の専門部会で作成された「学校でセクシュアル・ハラスメントが起ったら」のマニュアル冊子を使ってワークショップ形式で学ぶ。

◆富田先生のお話を聞き、歴史的な流れ、および現状を知るにつけ、大変さや理解できました。箕面市の先生方が作られた「学校でセクシュアル・ハラスメントが起ったら」という冊子の内容を高く評価されていたのが、印象に残りました。私も冊子はよくできていて、すぐに現場で活用できそうな内容であると思いました。

☆できれば保護者という別の視点も入れてのワークショップ形式の研修を増やせば、このマニュアルをもっと有効に活かせるのではないかと思います。

（守尾朋子）

つぶやき 先生編 集

昔と比べて

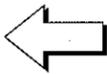
親との対話が  
むずかしく感じるのはなぜか

今回は、小学校の先生に「学校と家庭との対話」の中で、日頃感じていることや思っていることを語りあってもらいました。

【ケース1】

お子さんが、ふざけて窓ガラスを割ったんです…

事情を親に知らせたとき、中には我が子が本当にやったのかと執拗に聞いたり、子どもがやったことだからと電話口で我が子に八つ当たりしたり、という場面にいくつあるときがあるんです。えっ、とびつくりしてしまっただけですね。



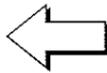
あなたならどう思う？…

「電話でほかの人の表情が見えませんが、うまい伝え方をしていないのかせ」

【ケース2】

夜に、自宅へ親から怒りの電話！何かと思ったら…

「先生は、クラスのなかでもAチームをひいきしているとか。そんなことが許されるのか」と抗議の電話がかかってきました。どういふことか尋ねると「放課後残っていた教員が、先生の机の上にあったAチームを応援するメモを見つけ、これはひいきだとの結論になった」とのこと。実はそのメモは、掃除中に落とし物として届けられたものであると説明すると、誤解はなんとか解けたのですが…



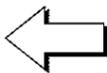
あなたならどう思う？…

「電話の内容はメモの件だったけれど、もう、うざい感じがしてしまっ原因が他に何かあるのかせ」

【ケース3】

5年の子を持つ親が6年のクラス替えで、A君と一緒にしないでほしいと訴え！

「我が子は中学受験のため塾に通っている。同じクラスのA君も通っていてライバルどうし。我が子がストレスを感じないように、A君とは別のクラスにしてほしい、またややこしいお子さんとは一緒にしないでほしい。」と言われ…



あなたならどう思う？…

「子ども自身の気持ちはどうなのかな。何かストレスを感じているのかな」

あなたの声をお寄せください



今回は、先生の「つぶやき」を紹介しました。次回は「つぶやきに応えて」の掲載を予定しています。この記事を読まれた感想やご意見をお待ちしています。連絡先：裏表紙参照

職場や家庭の話題に、また学級懇談会などの議題にしていただけなら…  
そこで一歩踏み込んで本音トークができたから、今まで見えてなかったことが見えてきたり、問題の根っこに気づいたり、関係づくりの糸口がつかめるかもしれないですね。



豪快・痛快・マカフシギ?! セツパラム 劇団



ヨロブン、アンニョンハセヨ? (みなさん、こんにちは)

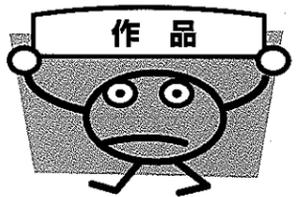
私たちは、「セツパラム劇団」と申します。「セツパラム」とは「東から吹いて、春を呼ぶ風・新しい風」という意味です。

☆朝鮮・韓国のこと、在日コリアンのことについてオリジナル作品をつくり、上演しています☆

1993年、箕面市で人権啓発事業の一環として、市主催、市民企画、運営による『みのおセツパラム』が開催されました。(93年2月第1回～01年3月第9回まで開催)

このとき公募で集まった実行委員会の数名が、自分たちで表現できるものはないだろうか、という熱い思いを抱き、95年夏、在日朝鮮・韓国で構成される『劇団 波爛世(パランセ)』による公演『太郎のピナリ』を箕面市に招致しました。

この芝居にたいく感動したメンバーで、自前の劇団を立ち上げよう！と始めたのが今日の『セツパラム劇団』です。



ふしぎのチャンゴ 1996年初演  
小五の小太郎はチャンゴ(朝鮮のたいこ)を習い始めたばかりであまりうまくない。ある日ちゃんごろう(チャンゴの精)が現れる。チャンゴの上達とともに心あたたまる友情物語。

もうひとつの羽衣伝説 1997年初演  
地上の湖へと水浴びに降りた天女たちが秀吉という若者に羽衣を奪われ、天の国に帰れなくなつたばかりかそれぞれの天女たちに未知の運命が待ちうける…

チャンマイヤギ～雨よふれふれものかたり～ 1998年初演  
日照り続きに困ったチンは、長雨(チャンマ)を降らせてもらうため天の国に旅立つ。

悪魔(アンマ)と天使(チョンサ)のささやき 1999年初演  
日本人女性の和美と在日3世のスエの思いを横目に、アンマとチョンサが日本の社会を鋭く解説!

それからの羽衣伝説 2000年初演  
天に帰らず、地上で生きることを選んだ天女2人のその後。

もともと「何でもやってみ隊」のメンバーは、在日外国人問題をテーマに、シナリオ作りから衣装、大小道具作りと全て手作りで、慣れない作業の中で、いろいろな思いを出し合い、なにか不思議な、とっても鋭く、でも楽しい芝居を作り上げてきました。

在日外国人のことをテーマに取り組んでいますが、結局は「自分がどうなんだろう」「よく知らないことが多いよね」ということがポイントです。「こうでないといけな」とつきつけられるとしんどいけど「こうやってもいいよね」と柔軟に受けとめればいいよね。



「セツパラム劇団」のセオリー

- \* どの作品にも必ず人間でないものが登場する。(見てのお楽しみ)
- \* 主に子どもにわかりやすく、みやすく、かつ大人も楽しめるお芝居
- \* 題材は、朝鮮・韓国を中心に在日外国人問題を取り上げる。
- \* 音響には朝鮮の伝統打楽器をふんだんに取り入れる。



セツパラム劇団は常に役者、スタッフ募集中!

何かしたくとうずうずしているあなたへ～セツパラム劇団の活動に参加してみませんか?～

朝鮮・韓国のこと、在日コリアンのことについて興味がある人、そうでない人、お芝居をしたことのある人、ない人、だれでも大歓迎!

コミュニケーションをよりよくするための自己表現体感・ワークショップもしています。

\*稽古場所 萱野中央人権文化センター らいとびあ21  
\*練習日 不定期、夜7:30～9:30(公演前は土日もあり)  
\*連絡先 TEL・FAX: 06-6328-5969 藤岡  
Eメール: hahihuhehoja@hotmail.com 小林

なべちゃん

『人権教育基本方針』⑧



教育とはなんのためにあるのだろう？

第2章第1節第3項 「人権教育カリキュラムの内容」人権教育カリキュラムは、自立と参加、自己実現、自己決定と自己責任など自由と権利を持つ個人として生きるための基本的価値観、共生、協働、連帯など、人権を基盤とする豊かな人間関係と社会をつくるための価値観を尊重して進めます。

私たちの人権教育基本方針は、人権教育の内容を右記のように語っています。この考え方は、1989年に国連でつくられた子どもの権利条約が下敷きになっています。子ども権利条約は、アメリカとソマリアを除くすべての国が加盟している条約ですが、実はこの条約の中では、そもそも教育の目的を「子どものからだどこの発達」「人権尊重の精神の育成」「自分のアイデンティティと文化をしっかりと持ち、同時に他の文化を尊重する精神の育成」「理解、平和、寛容、平等の精神とそれに対する責任の育成」「自然環境の尊重」の五つとしています（詳しいことは条約を見てくださいね）。すべての国の教育がこの五つの条件を満たすことが求められています。

国連の国際条約は、これを各国が守っているかどうかを審査するしくみを持っています。子どもの権利条約についても、世界から選ばれた専門家による子どもの権利委員会という審査機関がつくられており、各国はここに定期的に報告書を出さなければなりません。日本は1998年と2003年に報告書を提出しており、この報告書に対する国連子どもの権利委員会の最新のコメントは2004年1月に出されています。日本に対する子どもの権利委員会のコメントにはいろいろなことが書かれてありますが、1998年にも2004年にも同じ苦言が出されている点があります。それが人権教育なのです。子どもの権利委員会は、日本の政府・自治体・教育委員会が、学校のカリキュラムに人権教育を組み込む努力を十分にしていないと判断しています。

日本の教育は、日本人のためのものだから、他人にとにかく言われるおほえはないという人もおりますが、果たしてほんとうにそれでいいのでしょうか。日本の教育は、人類社会の一員としての自覚と責任を持つ子どもを育てなくてよいのでしょうか？箕面市の人権教育基本方針はこうした国際社会の要請に応えようとするものです。ほんとうに答えられているのかどうか、学校の先生方にまずふりかえってみていただければと思います。

（鍋島祥郎をべししょう 大阪市立大学人権問題研究センター助教

人権教育推進会議情報誌『はじける ころろ』

発行 箕面市人権教育推進会議

箕面市教育委員会

教育企画課 TEL072-724-6762 FAX072-724-6010

e-mail:edukikaku@maple.city.minoh.lg.jp

平成16年（2004年）12月

人権教育推進会議委員

鍋島祥郎、守婦朋子、小関麻沙好、河野秀忠、丸岡康一、安東由紀子、中田恵理、今元杏、高桂子、岡本克己、植田真理子、中田和成、前田健、主原照昌、岡村公子、川上加津子、仲野公、森田雅彦、井上隆志、栗本忠夫、中野仁司、上田博、南橋正博、南悦司、小谷功、石田宇佐美、津田善寿、黒田正記、前田功、辻広志、中井正美、谷口あや子、藤野美代子、坂上潔司